

議会だより つしま

No.28

2025

5月

令和7年



私たちはこの笑顔を守ります



令和7年第1回対馬市議会定例会の概要

令和7年第1回定例会が2月20日から3月14日(23日間)の日程で開かれ、同意案を除く29件の提出議案等について審議されました。一般質問は10人が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な議案

予算案 13件

(令和7年度対馬市一般会計予算 ほか)

全件 可決

条例改正案 14件

(刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 ほか)

全件 可決

議決案 1件

(辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画について)

1件 可決

同意案 7件

(対馬市固定資産評価審査委員会委員の選任について ほか)

全件 同意

その他 1件

(議員派遣について)

1件 可決

※ 議案、審議結果は対馬市議会
ホームページに掲載しています。

議案



審議結果



6月定例会のお知らせ

令和7年第2回定例会は、6月下旬に開催を予定しています。

※日程は、議会運営委員会で協議された後、ケーブルテレビ、議会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。

4年間ありがとうございました。

今後も市議会に対するご支援とご協力を
よろしくお願いいたします。



総務文教常任委員会報告

委員長 陶山 莊太郎

付託案件審査報告

【議案第10号】令和6年度対馬市一般会計補正予算（第10号）

- 主な歳入の内訳
 - ・ 地方交付税の追加
 - ・ 国庫・県支出金の減
 - ・ 寄附金の追加（一般・指定）
 - ・ 各種基金繰入金の減
- 主な歳出の内訳
 - ・ 減債基金積立金の追加
 - ・ 運賃低廉化事業負担金の追加
 - ・ 創業等支援事業補助金等の減
 - ・ 償還金利子の減

委員からの意見

- ・ 事業実績見込みによる補助金の減額が多い。
- ・ 特定有人国境離島地域社会維持推進交付金は、積極的に国と活用枠を協議し、有効活用を要望。

【議案第19号】令和7年度対馬市旅客定期航路事業特別会計予算

- 歳入・歳出予算
 - ・ それぞれ7,111万3千円
- 主な歳入の内訳
 - ・ 事業収入（一般・貸切・乗合・貨物運賃）
 - ・ 赤字航路事業補助金（国・県）
 - ・ 一般会計からの繰入金
- 主な歳出の内訳
 - ・ 職員等の人件費等及び各協会への負担金
 - ・ 運航に係る燃料費・修繕費等

- ・ 待合所建設・渡海船建造に係る費用の償還金
- ※ 職員の退職により3月1日から運休中。運航再開は6月1日予定

委員からの意見

利用者及び地域との協議を十分に行い、安定した地域公共交通の確保に努めてもらいたい。

【議案第27号】対馬市体育施設条例の一部を改正する条例

- 改正内容
 - ・ 体育施設から対馬市阿連体育館を削除
- 改正理由
 - ・ 民間での廃校利用のため

審査結果

- 【議案第10号】 原案のとおり可決
- 【議案第19号】 原案のとおり可決
- 【議案第27号】 原案のとおり可決

所管事務調査報告

調査日 令和7年2月7日
教育委員会事務局

厳原幼稚園の現状と運営

● 厳原幼稚園の現状

- ・ 平成16年4月、旧厳原幼稚園と旧久田幼稚園を統合移転
- ・ 園児室4室、多目的室、遊戯室（全室エアコン完備）の他、職員用施設も充実
- ・ 完全洋式化された2つの園児用トイレ（1つはシャワー室付）
- ・ 多様な遊具を配置した園庭
- ・ 清潔な野外トイレと広い駐車場

※ 園舎等は、明るく木のぬくもりが感じられる快適な環境である。また、立地条件が良く、屋外施設も充実していることを確認

● 厳原幼稚園の運営状況

- ・ 教育目標「主体的に遊びに取り組み、いろいろな人や物・自然とかかわる力を培い、心身ともに健やかで、生き生きと活動する子どもの育成に努める。」
- ・ めざす園児像「やさしく、なかよく、のびのび、げんきな子」
- ・ 職員数 8名（園長、教諭3名、用務員、介助員3名）
- ・ 園児数 12名（年少4名、年中6名、年長2名）（令和6年5月1日現在）
- ※ 各目標のもと、きめ細かい園児教育を実施していることを確認
- 課題
 - 令和元年の幼児教育・保育の無償化以降、保育園を選択する保護者が増加し、園児数が年々減少
- 対策
 - 市全体として、未就学児の幼児教育についての運営方針を検討

委員からの意見

- ・ 鶏鳴幼稚園との統合も検討する必要があるのでは。
- ・ 本施設の現状から、幼児施設として使用することが最適である。
- ・ 運営方針の検討内容によっては、保護者などに早期の説明が必要。
- ・ 未就学児の幼児教育についても、義務教育と同様に子どもたちを真ん中に置き、最善の運営方針を検討していただきたい。

■厚生常任委員会報告

委員長 島居 真吾

付託案件審査報告

【議案第10号】令和6年度対馬市一般会計補正予算（第10号）

●主な歳入の内訳

- ・自立支援給付費負担金、障害児通所給付費負担金及び施設型給付費負担金の追加
- ・オフィス用品販売企業のアスクール株式会社からの寄付金の計上

●主な歳出の内訳

- ・私立保育施設2カ所にかかる運営費の実績見込みの増加に伴う施設型給付費負担金の追加
- ・後期高齢者医療広域連合負担金、生活扶助費、住宅扶助費及び介護扶助費の減
- ・診療所特別会計繰出金、合併処理浄化槽設置事業補助金、医薬材料費、運転維持管理業務委託料及び機械器具法令点検・保守点検委託料の減

【議案第15号】令和7年度対馬市診療所特別会計予算

●歳入・歳出予算

- ・それぞれ4億7,059万2千円

●主な歳出の内訳

- ・職員等の人件費等及び出張診療所等への対馬病院からの医師派遣にかかる委託料
- ・医療器具使用料、直営診療所の医薬品代

【議案第16号】令和7年度対馬市国民健康保険特別会計予算

●歳入・歳出予算

- ・それぞれ41億9,191万8千円

●主な歳出の内訳

- ・長崎県国民健康保険団体連合会負担金、納税組合事務取扱費交付金、国民健康保険事業費納付金、特定健康診査委託料

【議案第17号】令和7年度対馬市後期高齢者医療特別会計予算

●歳入・歳出予算

- ・それぞれ5億2,244万1千円

●主な歳出の内訳

- ・保険基盤安定負担金及び保険料納付金

【議案第18号】令和7年度対馬市介護保険特別会計予算

●歳入・歳出予算

- ・それぞれ40億5,030万8千円

●主な歳出の内訳

- ・介護認定審査会委員報酬及び意見書作成手数料、
- ・居宅介護サービス給付費負担金、居宅介護予防サービス給付費負担金
- ・介護予防、地域包括支援センター職員及び会計年度任用職員の人件費

◆◆◆ 審査結果 ◆◆◆

【議案第10号】原案のとおり可決

【議案第15号】原案のとおり可決

【議案第16号】原案のとおり可決

【議案第17号】原案のとおり可決

【議案第18号】原案のとおり可決

■産業建設常任委員会報告

委員長 坂本 充弘

付託案件審査報告

【議案第10号】令和6年度対馬市一般会計補正予算（第10号）

●主な歳入の内訳

- ・離島輸送コスト助成事業補助金及び社会資本整備総合交付金の減
- ・新たにチャレンジ水産経営応援事業補助金、離島漁業再生支援交付金及び有害鳥獣被害防止対策事業補助金の減
- ・道路橋りょう債及び漁港整備事業債の減

●主な歳出の内訳

- ・離島漁業再生支援交付金及び離島輸送コスト助成事業補助金の減
- ・尾浦浅藻線道路改良工事請負費の追加
- ・市道安神1号・4号線外1路線の立木建物等補償費の減

【議案第20号】令和7年度対馬市水道事業会計予算

●主な歳入の内訳

- ・水道使用料、一般会計負担金、長期前受金戻入、企業債、国庫補助金、補償金

●主な歳出の内訳

- ・人件費、検針等委託料、水質検査手数料、修繕費及び施設管理費

【議案第21号】令和7年度対馬市漁業集落排水事業会計予算

●主な歳入の内訳

- ・使用料、他会計負担金、他会計補助金、長

- 期前受金の戻入
- 主な歳出の内訳
 - ・ 維持管理費、委託料、排水施設工事請負費
 - 企業債償還金
- 【議案第29号】対馬市港湾施設管理条例の一部を改正する条例
 - 改正内容
 - ・ 第2条の表に次のように加える
 - 仁位港湾都市再開発用地
 - 対馬市豊玉町仁位2089番地26ほか
 - ※別表その1の料金表は省略
- 改正理由
 - ・ 県管理の仁位港の港湾施設背後地について、財産取得したことに伴い条例改正するもの
- ◆ ◆ ◆ 委員からの意見 ◆ ◆ ◆
 - ・ 多くの事業で執行残が出ている状況であることから、事業の執行残を少なくする工夫をしてほしい。
- ◆ ◆ ◆ 審査結果 ◆ ◆ ◆
 - 【議案第10号】 原案のとおり可決
 - 【議案第20号】 原案のとおり可決
 - 【議案第21号】 原案のとおり可決
 - 【議案第29号】 原案のとおり可決

意見交換会報告

常任委員会で関係団体との意見交換会を行いました。その内容を報告します。

厚生常任委員会

期 日 令和7年2月13日

相手方 対馬市社会福祉協議会

内 容

有人国境離島法の延長に向けた今後の対策と対馬市議会の取組、広報紙の発行、訪問介護事業（ホームヘルプサービス）の報酬などについて意見交換を行いました。



産業建設常任委員会

期 日 令和7年1月10日

相手方 対馬森林組合

内 容

海上輸送コスト負担軽減に向けた市からの支援、島内運賃について森林環境税を活用した支援、鹿ノ浦港の背後市有地の使用、市と個人の分収林契約の更新、林道補修の予算などについて意見交換を行いました。また、分収林の現地視察も行いました。



市政を問う 10名の議員が一般質問



入江 有紀議員

今回で4年間最後の一般質問になるので、市民からの要望を一言、市長にお願いする。豊玉診療所に通院するのに、仁位バス停から診療所までの距離が遠いので何か交通手段を考えてほしい。私事ではあるが、市民の皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございます。

◆区長要望に対する対応は

(入江) 1年間に約700件の要望が来ているが、140件ぐらいしか対応できてない。要望に対してどのような優先順位で処理しているか。

(市長) 現地を確認し、緊急を要すると判断したものは優先的に対応している。

◆全島のテニスコート

(入江) テニスコートの整備をお願いしていたが、久田のコート(1面)は補修をしてもらっている。あとは浜久須を芝にしてもらえたらと思う。

(教育長) 改修には多額の費用を要するため、施設の利用状況により、優先順位を検討し、改修を進めていく。

◆生活困窮者の救済

(入江) 市では生活困窮者の救済方法は生活保護しかないのか。

(市長) 救済方法としては生活保護以外にない。生活保護が開始されるまでの間、食料品等の現物給付を行う生活困窮者レスキュー事業を活用していただくよう助言している。



糸瀬 雅之議員

◆組織機構の見直し

(糸瀬) 北部地区の住民サービスへの影響及び、災害時の初動対応は。

(市長) 職員の技術職、専門職が減少しており、北地区保健センターを廃止し、豊玉庁舎にある保健部に集約することで、健康増進課、長寿介護課のマンパワーの充実を図り、バランスを考えた組織にしたい。各種健診等の際には、近隣に居住の職員には、直接、上県庁舎に出動も可能とするなど、職員の移動負担の軽減と市民サービスの確保に努める。北部建設事務所については、技術職員を配置し、管内公共施設の維持管理及び、災害時の初動対応等については、対馬市職員災害時初動マニュアル見直し、関係機関との連携を引き続き強化

◆上県町の各保育所、中学校

(糸瀬) 統廃合計画や廃園、廃校舎の今後の活用計画は。

(市長) 佐須奈保育所、仁田保育所の統合については現状維持と考えている。上県町内の廃園、廃校舎は、どの施設も老朽化が激しく、利活用は困難な状況であり、対馬市公共施設等個別施設計画を見直していく。

◆(教育長) 佐須奈小・中学校、仁田小学校、仁田中学校の統合については、佐須奈中学校と仁田中学校を統合する方針とし、協議を進めていく。

◆北部地域アクションプラン

(糸瀬) 進捗状況は。

(市長) 今年度、計画策定に着手し、来年度3月完成に向け進めている。

(糸瀬) 要望として、佐須奈地区に企業誘致、佐須奈地区の千俵山及び、仁田地区は目保呂ダム馬事公園の整備を考えていただきたい。

市政を問う 10名の議員が一般質問



伊原 徹議員

◆活性化への取り組み

(伊原) 活性化継続に向けての具体的な取り組みは。

(市長) 2020年の国勢調査での人口は、28,502人で、ピーク時の4割程度。2015年に対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、重点戦略として、「雇用を創出する」、「移住・定住を拡大する」、「安心して結婚・出産・子育てができる」、「老後の生きがいを充実させる」、の4つを掲げ、人口減少対策の取組を推進している。

(伊原) 技術職の応募状況と充足率は。

(市長) 7月に実施した社会人枠で2人、9月の高卒・大卒試験で1人の応募があった。技術職の充足率は82%。

(伊原) 事業所による雇用説明会への市のかかわりは。

(市長) 市内事業所の人材確保対策として、都市圏において、移住と雇用の場、住まいの相談、島の魅力発信などを柱としたイベントを開催している。

◆燃油高騰対策

(伊原) 燃油価格の高騰について、石油商業組合との協議は。また、油槽所の維持管理費及びタンクローリー配送への補助は。

(市長) 組合との正式な協議は行っていないが、平成21年度に実施した調査研究では、油槽所を1カ所に集約するため7億円の投資をしても1リットル当たり1円程度の効果しか得られないと試算された。県市長会において、本土との価格差正のための制度見直しや離島におけるガソリン税減免など、新たな制度創設に向けた国への提言に取組んでいる。市としては燃油の消費者である各産業等への直接補助の効果が高いと考える。



小宮 教義議員

◆厳原町野良地区の対馬市職員住宅施設の市長の使用について

(小宮) 引越しにより法令違反は排除されたが、市民から市のトップとしての責任のあり方を問う声がある。反省の弁だけでなく、しかるべき対応をすべき必要があると思われるが、考えを問う。

(市長) 責任については議會の場で謝罪と反省の弁を述べた。その他の処分については考えていない。

◆湯多里ランドつしまの運営について

(小宮) 9月補正予算に計上され市に瑕疵があったとして執行した減収補填はプール施設のどこに瑕疵があったのか。

(市長) プールの漏水や濾過器、循環ポンプなどに不具合があり、改修のため営業できなかった日数にかかる減収分である。

(小宮) 便宜を図ったとは思えない。

(市長) そのような事実はない。発言を取り消してほしい。



市政を問う 10名の議員が一般質問



協本 啓喜議員

◆公共施設マネジメント

(協本) 老朽化公共施設は自治体が抱える時限爆弾とも言われ、早急な縮充案を検討すべき。

(市長) 公共性を維持しつつ財産処分を逃すことがないようケースバイケースで取組む。

(協本) 市有地木材置き場使用料の減免を据え置き、林業関係者の下支えができないか。

(市長) 今後も、更なる機能集約・効率化に向けて調整を図りながら、継続して免除する。

(協本) 舟志港湾に從來就航していた木材運搬船の就航継続が不透明となり、峰港湾まで追加運賃の負担が増すのではと危惧されてい

る。島内木材運搬費へ何らかの補助ができないか。

(市長) 林地残材は森林整備に影響があり、併せて災害発生抑制の観点から森林環境譲与税を活用し補助しているが、純粋な丸太(原木)は解釈が異なる。

(協本) 令和5年6月の林野庁・総務省通達には、林地残材だけでなく間伐材も森林環境譲与税補助の例に上がっており、何ら問題がないはずだ。間伐材を補助対象としている自治体や林野庁に確認していただきたい。

(協本) 漁業者育成補助金制度において、記録的なイカの不漁等の個人の努力ではどうにもならない事情で漁業を断念せざるを得ない場合には、柔軟な対応ができないか。

(市長) この制度のおかげで若い漁師が育っている。今後もこの研修生に寄り添い、親身にフォローしていく。



小島 徳重議員

◆多様な主体によるしまづくりは

(小島) 「ふるさと住民登録制度」や「2地域居住」を取り入れ、多様な主体による地域づくりは。

(市長) 対馬は2地域居住の拠点としての好条件を有している。関係人口の拡大、ふるさと納税増額を図るため、プラットフォームによる情報収集や国・県への支援要請を進める。

◆ふるさと納税の増収と活用は

(小島) 令和7年度までの目標5億円をもっと高く設定すべき。

(市長) 3か年計画で、令和7年度末までに5億円を目標に事業に取り組む。

(小島) 五島市、壱岐市は既に6億円から8億円の実績がある。対馬もやり方次第で増える。五島市の「心

のふるさと市民制度」などを参考にすべき。

◆第2次総合計画の評価、第3次計画への取り組みは

(小島) 第2次計画後期の評価、市長の所見、政治姿勢は。

(市長) 令和2年度以降コロナ感染症のため、対応に追われ、行動制限もあり、思うように施策を展開できなかった。市民や議会とともに協働して着実に実行していく。

◆中学校部活動の地域移行は

(小島) 移行後の活動費用は公費で負担すべき。

(教育長) 小学校の社会体育と同様、施設の使用料の減免を除き、個別の補助は考えていない。

(小島) これまで土、日、休日に指導する教職員には、公費で手当が支給されていた。社会制度の変更により、保護者が負担することは義務教育の理念・制度に反する。

(市長) 国、県の動向に注力しながら、できる限りのことはしたい。

市政を問う 10名の議員が一般質問



船越 洋一議員

◆漁業者の生活の支援策

(船越) 基幹産業である漁業は、漁獲量が激減し、生活も厳しい状況が続いている。何らかの支援策が必要では。

(市長) 関係機関と連携した漁業者向けの融資制度の拡充や貸付制度の活用、また、国・県と連携し、漁業者の経済的な支援策が拡充できるよう働きかけていく。

◆財政

(船越) 一般税、国民健康保険税の不能欠損金が多く、財政を圧迫しているのでは。

(市長) 滞納抑制のため滞納整理を強化し、納税意識の向上を図るとともに、地域経済の活性化による個人・法人所得の増進を目指す。

◆分収造林の契約は

(船越) 分収造林は現在33か所あり、継続契約は29か所、契約更新切れが4か所。契約の期限が間近な分収造林は、所有者の意向を踏まえながら、引き続き契約更新を図る。

◆市長公舎の設置

(船越) 旧裁判官宿舎は現在、移住者向けのお試し住宅として使用しているが、本庁舎に近く、危機管理体制を考えると市長公舎にすべきだと思うが。

(市長) 人口減少抑制対策、担い手の確保は本市の重要施策であり、その一環として、移住・定住を促進する必要がある。私の任期中は市長公舎としての活用はせず、引き続きお試し住宅として活用したい。



作元 義文議員

◆対馬の自然保護と有効活用

(作元) 対馬島の下から上まで自然を利用した多くの観光地があるが、整備状況はどうか。

(市長) 整備を実施していく箇所やその緊急性等について、優先度や事業規模などを総合的に判断しながら、振興実施計画等に基づき整備を進めている。対馬の豊かな自然は貴重な地域資源であり、整備・開発と地域資源の保全という2つのバランスを取りながら推進していく。

(作元) 新たに協働隊を採用したときには、神話の里、烏帽子岳、和多都美神社等、全体的な活用ができるよう、市長も中に入って、しっかりと取り組んでいただきたい。

◆対馬の資源保護と活用方法
(作元) 水産業の不振が続

いているが、資源の状況調査等は。また、沖合底引き網、巻網の規制に関する状況は。

(市長) 国において、調査や漁業者からの情報収集などを基に漁獲量制限や禁漁期間など適正な資源管理措置を講じている。規制に関しては、関係機関と連携調整を図りながら、適宜対応に努める。

(作元) 島外の漁業者が小さいアカムツも獲っている。資源の枯渇に繋がるため、市の漁業者の生活が成り立つよう、県との協議など、市もしっかり取り組んでほしい。

(市長) 県と相談をした上で水産庁等に要望をしたい。

◆ジェットfoilの建造

(作元) ジェットfoilの契約に関する今の状況は。

(市長) 現在、鉄道運輸機構において審査が続いている状況であり、契約の締結までには至っていない。

市政を問う 10名の議員が一般質問



坂本 充弘議員

◆漁業振興対策

(坂本) 総合的な漁業振興対策、漁協合併の支援策、クロマグロについて問う。

(市長) 燃油価格高騰対策支援及び漁船漁具導入資金の利子補給、漁業共済への加入促進、新規漁業者後継者の育成、藻場再生技術の開発や普及、放流効果の検証と技術改善を重ね、資源管理の高度化により持続可能な漁業の実現を目指す。漁協合併支援策は、県では中小企業診断士や税理士による財務改善支援、合併計画策定支援があり、本市も推進支援をしていく。クロマグロの令和6年管理年度の当海区への配分量は、約440トンで県内の42%。今後は海地区長会で議論調

整され、漁協間の連絡調整を図り、対馬海区全体で消化率の向上に努めることが重要。

◆トンネル内のラジオ放送

(坂本) 厳原トンネル以外はラジオが受信できない。防災や緊急事態を考慮し、早急に整備すべきでは。

(市長) トンネルは「道路トンネル非常用施設設置基準」があり、現行での整備は困難であるため基準の見直しを検討できないか、県と協議したい。

◆障害者専用駐車場の確保

(坂本) 「二十歳を祝う会」で障害者専用駐車場が確保されていなかった。今後は確保をお願いしたい。

(教育長) 教育委員会所管の施設は障害者専用駐車場がない施設が多い。今後はイベントや利用いただく団体等へもお願いし、障害者専用駐車場の確保に努める。



波田 政和議員

◆南部地域アクションプランの進捗状況

(波田) 策定日から日数の経過と共に変化していく現実社会に、地域が求める起爆剤となり、サービス向上に繋がる対応がなされているのか。例えば豆酥住民センター整備事業は建屋解体と進んでいるが、完成までの代替施設など、住民サービスの低下にならないための対策を問いたい。

(市長) 豆酥に関しては、漁協の施設を利用しようと報告が上がっている。急なことは申せ、一部の方々にご迷惑をおかけしたことは率直に謝りたい。

(市民生活部長) 地元の皆様に十分に理解していただけるよう、事前に説明をし

て承諾をいただくのが筋であった。

(波田) 一事例として出したが、全島的なプランが動き出す中、これからも多々ある問題だと思う。職員が出向いてフォローをお願いする。

◆残りの任期、行政と議会がそれぞれの立場で検証し、市制30周年へ向けてのビジョン

(波田) 核ごみ施設誘致と島内分断の危機までに発生しかけたことに対し、市長の判断と、今後、火種を残さないためにも、安心安全な対馬市へと導く考え方を問う。

(市長) 判断は的確で、一切の迷いはない。この姿勢を貫き、行政が一方的に火種を消すのではなく、皆様と共に考え、意見を交わしながら進めていく姿勢を大切にしたい。

予算審査特別委員会レポート

令和7年度一般会計当初予算 342億700万円

令和7年度の一般会計歳入歳出予算の総額は、令和6年度当初予算と比較してプラス2.9%の342億700万円となっています。これは、令和6年度当初予算が市長選挙の関係から骨格予算だったことが影響しており、予算額で9億8,000万円の増額となっております。

令和7年度当初予算総括表

(単位：千円、%)

会 計 名		令和7年度	令和6年度	増 減 額	増減率
一 般 会 計		34,207,000	33,227,000	980,000	2.9
特 別 会 計	診 療 所	470,592	465,073	5,519	1.2
	国 民 健 康 保 険	4,191,918	4,419,738	△ 227,820	△ 5.2
	後期高齢者医療	522,441	514,221	8,220	1.6
	介 護 保 険	4,050,308	4,038,931	11,377	0.3
	旅客定期航路事業	71,113	47,872	23,241	48.5
水 道 事 業 会 計		1,905,653	1,845,378	60,275	3.3
漁 業 集 落 排 水 事 業 会 計		47,955	39,976	7,979	20.0

※特別会計、水道事業・漁業集落排水事業会計については常任委員会で審査
 ※水道事業・漁業集落排水事業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額

【主な新規・継続事業】

事 業 名	予 算 額
情報通信基盤整備事業	2億9,349万2千円
大山地区避難所施設開設事業	7,030万円
総合計画推進事業	1,067万8千円
ジェットfoil更新支援事業	7,368万8千円
ふるさと納税返礼システム運用事業	2億707万3千円
あそびパーク整備事業	1億9,728万2千円
海岸漂着物等地域対策推進事業	3億1,000万円
雞知保育所用地購入事業	6,600万1千円
森林環境譲与税活用事業	1億1,276万8千円
漁港整備事業	4億8,480万円
市道改良事業	21億3,152万2千円
公営住宅等整備事業	2億3,520万7千円
防災行政情報伝達システム整備事業	7億5,729万8千円
高機能消防指令センター整備事業	1億2,059万円
巖原中学校大規模改造事業	8,779万6千円
交流センターイベントホール空調設備改修事業	1億6,401万円

PICK UP

新たに未来環境部が設置されました

対馬市が重要課題として取り組んでいるSDGsをはじめとした環境施策の担当として、未来環境部が設置されました。

現在、しまづくり推進部が所管している域学連携に関すること、エネルギー政策に関すること、市民生活部所管の環境保全に関すること、廃棄物処理に関すること、農林水産部所管の自然環境保護に関することなど、未来に向けた環境施策、対馬特有の動植物などの自然保護の施策の取組を担当します。

主な事業

SDGs戦略課

- SDGs推進事業 654万5千円
- SDGs人財育成事業 1,953万1千円



自然共生課

- 有害鳥獣被害防止対策事業 1億7,247万8千円
- 生物多様性保全事業 1,426万5千円



環境政策課

- 海岸漂着物等地域対策推進事業 2億6,631万2千円
- 廃棄物処理4施設の維持管理経費 10億7,866万5千円



編集後記

早いもので4年の任期が終わろうとしています。議会広報編集特別委員会では、「議会だよりつしま」の大幅リニューアルなど、大きな役割を担うことができました。また、紙面でお伝えしきれなかったことは説明会も開催しました。

「議会で何を議論しているのか」「議員は何をしているのか」、すべてをお伝えすることはできていませんが、委員会として工夫しながら「伝える」努力を重ねていく必要があります。

現在のメンバーでの編集は今号で最後となりますが、これからも進化する「議会だよりつしま」にご期待ください。4年間市民の皆様のご支援、ご指導ありがとうございました。

(文責…入江有紀)



議会広報編集特別委員会
 (委員長) 陶山 壮太郎
 (副委員長) 入江 有紀
 (委員) 小島 徳重、坂本 充弘、島居 真吾、神宮 保夫